

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年8月21日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 公安委員会事務代行規程の一部改正について
- ・ 秋田県公安委員会が実施する警備員指導教育責任者講習事務の警備業協会への業務委託契約について
- ・ 警察職員等の援助要求について
- ・ 運転免許の取消処分について

2 報告事項

(1) 令和元年7月中の「苦情」の取扱いについて

県警察から、令和元年7月中の「苦情」の取扱いに関する報告があった。

苦情受理件数は8件で、公安委員会宛て1件、警察宛て7件であった。

苦情の内容は、「事件捜査に関するもの」2件、「パトカーの走行に関するもの」4件、「警察官の言動に関するもの」1件、「電話対応に関するもの」1件である旨の報告があった。

委員から、『パトカーの走行には十分注意していただきたい。』『苦情については、丁寧に話を聞き、しっかりと説明してもらいたい。』との発言があった。

(2) 令和元年上半期の街頭防犯カメラの活用状況について

県警察から、令和元年上半期の街頭防犯カメラの活用状況に関する報告があった。

街頭防犯カメラの画像データを90件検索し、そのうち44件を警察署長にデータ提供し、犯行状況の確認及び裏付け捜査等に活用した旨の報告があった。

委員から、『防犯カメラの設置自体が抑止力につながる。人の目が行き届かないところを防犯カメラに負うところが大きいので、有効活用していただきたい。』との発言があった。

(3) 能代市西通町地内における殺人未遂事件被疑者の逮捕について

県警察から、能代市西通町地内における殺人未遂事件被疑者の逮捕に関する報告があった。

能代警察署は、令和元年8月1日、能代市西通町地内において発生した能代市内の男性（当時51歳）に対する殺人未遂事件について、8月8日に被疑者を逮捕した旨の報告があった。

委員から、『現場周辺の住民に不安を与えないような広報をお願いしたい。』との発言があった。